

YOKOSHIN NEWS

令和2年12月25日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について —2020年10～12月期実績、2021年1～3月期予想—

横浜信用金庫（理事長 大前 茂）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

今期は全ての業種で前期より持ち直し、来期は悪化し、低調な推移を見込む

- 今期（2020年10～12月期）の全業種総合業況判断DIは、前期比10.0ポイント上昇の-33.6と前期より持ち直した。来期は、今期比0.1ポイント低下の-33.7と低調な推移を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比8.8ポイント上昇の-41.6となった。来期は、今期比2.8ポイント上昇の-38.8を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比10.6ポイント上昇の-29.7となった。来期は、今期比1.5ポイント低下の-31.2を見込んでいる。

【特別調査】「2021年(令和3年)の経営見通し」

- ・2021年の日本の景気見通し 悪い（39.0%）、やや悪い（38.0%）
- ・2021年の自社の業況（景気）見通し 普通（36.8%）、やや悪い（34.9%）
- ・2021年の貴社の売上額の伸び率 変わらない（36.6%）
- ・自社の業況が上向く時期 1年後（22.9%）、2年後（18.5%）

〔特別項目〕 コロナ禍で地域金融機関に求めること

各種補助金・助成金等の活用支援（54.5%）
ビジネスマッチング・顧客紹介（45.4%）

< 調査概要 >

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）775先 有効回答数：764先
調査方法：営業店職員による聞き取り調査 調査時期：令和2年12月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒[景気動向調査](#)」をご覧ください。

* 本件に関するお問い合わせ先 * 経営企画部：望月、汐見 電話：045-680-6912



横浜信用金庫